

# 鏡川流域パートナーシップだより No.147 R6.6.12



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 高知大学生の興味・関心で鏡川流域を盛り上げる！



5月8日・15日に実施した高知大学地域協働学部1回生対象の授業「課題探求セミナー」をきっかけに、高知大学地域協働学部の1回生との連携が続いています！

これまで、まちのコイン「ぼっちり」で「地域活動やってみる！」というプロジェクトを作ったり、Instagramで「高知大学地域協働学部ぼっちりプロジェクト」を立ち上げたりと、積極的に鏡川流域関係人口の取組に関わりを寄せてくださる学生の皆さん。



@KOCHI\_RC\_BOTCHIRI

6月11日(火)には、3回目となる高知市職員との交流会を行いました。



清掃活動や日曜市の調査など、鏡川流域を中心とした地域活動に関する体験チケットを発行中！



坂東さんは、「鏡川流域のお城を巡るイベントをしたい」「城跡などに『ぼっちり』のQRコードを貼ってPRにつなげたい」など、アイデアを次々と伝えてくれました！実現に向けて一緒に活動を進めていきたいです！

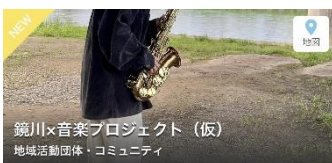
お城や歴史に関心のある坂東孝紀さんは、鏡川流域を中心としたお城の魅力を発信するスポット「鏡川流域城郭倶楽部」を立ち上げて体験チケットを発行し、ユーザーを盛り上げています！



「鏡川流域パートナーシップ」のステッカーをPCに貼ってくれています♪



今後も学生さんの「やってみたいこと」を生かして鏡川の環境保全や関係人口の創出につなげていけるよう、「ぼっちり」の活用などを通じて、連携を深めていきます！



音楽の力で鏡川流域を盛り上げたいとの想いで、「鏡川×音楽プロジェクト」が発足しました！音楽が好きという池田章悟さんを中心に、音楽をテーマにした鏡川への関わり方を考え、発信していきます！

## 出張！「鏡川水族館」



上流では地元住民が、下流では高知大学生が魚釣りを担当！



6月8日(土)、土佐市複合文化施設「つな一」で開催されたイベント「海・川の生きもの大集合！～見て、触れて、作って、SDGsを考えよう～」にて、鏡川の魚が展示されました！(主催：NHK高知放送局)

鏡川の上流・下流でそれぞれ釣り上げたカワムツやウグイなどが水槽に展示され、鏡川に棲む生き物や生態系を流域外に発信する機会となりました♪

鏡川水族館：鏡川に生息する生きものを生きたまま水槽に入れ、展示する企画。鏡川河畔の様々なイベントに出展している。世話人は宮崎晃さん



「ぼっちり」でも関わりを創出・可視化！イベントへのコメントが届きました！

「高知にこんなにたくさんの種類の魚がいることに驚きました」

「釣った方、素晴らしいです」

「魚たち、元気に迎えてくれるのでしょうか？たくさんの人が来るといいですね！」



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながる山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android